

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 木野山府中線単車道道路改良事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 橋梁・高架

ボーリング名	BN0.2		調査位置	広島県府中市出口町		北緯	34° 34' 58.3489"		
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	令和4年 5月16日～ 令和4年 5月24日		東経	133° 13' 31.8102"	
調査業者名			主任技師			現場代理人			
孔口標高	TP	57.75m	角			地盤勾配			
総削孔長	13.00m		度	0°		使用機種	試錐機 YBM製YSO-1型 エンジン ヤンマー製TF-120VE型		
						ポンプ	YBM製SP-40型		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試料採取		室内試験	削孔月日	
											深度 - N 値図		N 値	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深度 (m)	試料番号			採取方法
1				盛土	茶	rd5			石垣。地表から1.0m付近まで砂まじり礫で、それ以降は径10~30mmの玉石を主体とする。マトリクスは砂礫である。1mの標準貫入試験 玉石あたり	5/23	0	1.05	貫入不能	50	0					5/16	
2	55.95	1.80			茶				1.50~1.80m 花崗岩と泥岩を骨材とするコンクリート	5/23	50	2.00	貫入不能	50	0					5/19	
3					茶				礫と玉石主体の未固結堆積物である。マトリクスは粘性土まじり砂礫である。礫と玉石は硬質で未風化な花崗岩と泥岩。風化花崗岩を起源とする。玉石の最大コア長は1.15mである (8.00~9.15m) (推定礫径3m程度)。	5/23	50	3.00	貫入不能	50	0					5/20	
4					白灰	rd4			2mの標準貫入試験 玉石あたり 3mの標準貫入試験 玉石あたり 4mの標準貫入試験 玉石あたり 4.0~4.5m 現場透水試験実施	5/23	50	4.10	貫入不能	50	0					5/20	
5				玉石混じり礫					5mの標準貫入試験 玉石あたり 5.1m付近より粘土が混じり始める。 5.1~7.5m 比較的玉石が少ない。	5/23	50	5.00	貫入不能	50	0					5/21	
6					SFG					5/23	50	6.05	14	18	50	290	6.34	P2-1	◎ 比透水性	5/21	
7					GFS					5/23	50	7.15	13	18	50	300	7.45	P2-2	◎ 比透水性	5/21	
8					暗灰				8mの標準貫入試験 玉石あたり	5/23	50	7.45	50	50	20					5/23	
9	48.43	9.32							8.00~8.30m 風化花崗岩 8.30~9.15m 花崗岩 9.00~9.15mは漸移的に風化~未風化花崗岩になる玉石である。当深度付近に岩壁が存在する可能性がある。	5/23	50	8.00	貫入不能	50	0					5/23	
10				花崗岩	白灰				9mの標準貫入試験 玉石あたり 粗粒花崗岩である。全体的に礫状~棒状コアとして採取されるが、軽い衝撃で壊化する。亀裂はほぼ水平、45~60度傾斜。縦方向に発達している。亀裂部に風化は見られない。	5/23	50	10.00	50	50	20						5/23
11									9.32~10.00m 岩級区分DH級相当 礫~短棒状コア。コアは一部指圧で崩れる。	5/23	50	11.00	50	20							5/24
12									10.00m~11.00m 岩級区分L級相当 棒状コア。コアは指圧で崩れない硬質なものである。	5/23	50	12.00	50	50	20						5/24
13	44.75	13.00							11.00m以深 岩級区分DH~L級相当の塊状~棒状コアが混在する。	5/23	50	13.00	50	50	10						5/24